

教育センター学びの丘長期研修員研修の概要について

御坊市立湯川小学校
教諭 稲葉美由紀

和歌山県教育センター学びの丘における長期研修員研修は、今日的教育課題解決に資するため、教育に関する専門的・技術的事項について研修し、教職員としての資質能力を高め、その成果を本県教育の充実に生かすことを目的として実施されている。述べるまでもなく、教員は絶えず研究と修養に励み、その職責の遂行に努めなければならない。「研究」とは、辞書によれば「物事について深く考えたり調べたりして真理を明らかにすること」とある。「修養」とは「知識を高め、品性を磨き、自己の人格形成に努めること」とある。今回、研修を「自己の専門性をより向上させるための研究と教員としての資質を広く高める修養の機会」として受けとめ、1年間研鑽を積むこととなった。

研修は5つの段階が設定された(図参照)。まず研究では、第1段階(基礎期)に研究に関する基礎基本を学んだ。第2段階(向上期)では研究計画立案や模擬授業等に取り組み、第3段階(探究期)では所属校で授業研究を実施した。第4段階(充実期)ではデータ分析と研究発表を行い、第5段階(修了期)では研究成果物を作成した。次に、修養では、授業力・学校組織開発力・校内研修運営力の向上トレーニングが段階ごとに実施され、学校におけるミドルリーダーの役割と行動について年間を通じて学んだ。加えて、センターが実施する多岐に渡る研修講座や指導主事等による「研修員研修」の受講や、所属校における学校課題解決のための校内研修参加等を通して、幅広く教員としての力量向上を目指してきた。

今回、1年間の研修の機会を得ることで多くの授業を参観することができた。目を輝かせて学ぶ子どもたちに出会うたびに授業力向上への意欲が湧き、さらに研修に身が入った。例えば、授業の基本技術や特別支援教育の視点に立った指導等多くのことを学んだ。そして模擬授業を行い、指導主事や他の長期研修員から指導、助言を受けることで実践的指導力向上に努めた。その後、所属校において授業研究に取り組み、その結果を分析検討した。このような研修を通して、ますます子どもたちの成長を促すことのできる教員になりたいという意識が高まった。

意識が高まるほどに、自己の未熟さを痛感した1年間でもあった。研修講座や研修員研修を受講するたび、自らの無知に気付かされた。算数科の専門的知識のみならず社会情勢や教育の歴史等についても学び続け、教員としての専門性や教養を高めたいと感じた。今回の研修を教職における節目として捉え、今後も研鑽を積んでいきたいと考える。

なお、それぞれの課題に基づき年間を通して行った研究については、別途「研究報告書」としてとりまとめることとする。

段階	第1段階 基礎期	第2段階 向上期	第3段階 探究期	第4段階 充実期	第5段階 修了期
月	4月～5月	6月～8月	9月～11月	12月～1月	2月～3月
研究	・研究テーマ、方向性を設定し、第1回報告会で発表	・所属校での授業研究に向けた単元計画、資料等作成、模擬授業	・授業研究計画を第2回報告会で発表 ・授業研究の実施	・授業研究で収集したデータ分析 ・和歌山教育実践研究大会で発表	・研究報告書、資料の作成 ・研究成果の普及
修養	所属校研修 [所属校との連携・研修成果の還元] ■ 「授業力」・「学校組織開発力」・「校内研修運営力」向上トレーニング ■ 専門性の向上を目指す研修講座受講 ■ 初任者研修、10年経験者研修聴講 ■ 学びの丘指導主事等による研修員研修				

図 研修の概要